

科 目	英 語
出題意図 全体	高等学校までで学習する英語の語彙、文法、談話構成に関する知識を運用して、テキストを理解する能力を測定することを目的としています。主要なメッセージ、正確な情報を理解する能力、語彙・文法知識を運用する能力、理解したことをもとに類推する能力を問う構成となっています。
出題意図 リスニング	人文学部1部英米文化学科ではリスニング問題がありました。Part 1 は資料を参照しながら、英語による説明（講義、放送文）を聞き、重要な情報を理解できたかを問う問題でした。Part 2 は、長い会話文を意味のまとまりごとに聞き、会話の場面や主題を聞き取る問題です。Part 3 は短い会話文を聞き、会話で述べられていた情報、会話内容なら類推できるメッセージを聞き取る問題です。
出題意図 1	1,000語前後で10段落程度からなる完結した英語の文章を読む問題です。問1は、各段落の主題や重要な情報を理解できたかを問う問題です。問2は、文章で示されたさまざまな見方や情報のまとめを表で示し、メッセージの流れや論理構成を含めて、その理解を問う問題です。問3は、文章中の細部にわたる情報の理解を問う問題です。全体を通して、①主要情報の理解、②細部の理解、③論理構成の理解に関する読解力を問う構成となっています。
出題意図 2	定評のある語彙使用頻度リストを参考にして、使用頻度の高い語彙の中から、基本的な語からやや難易度の高い語まで段階的に抽出しして問題を作成しています。基本的な語彙知識を問うことがねらいです。与えられたダイアログの中でふさわしい単語を選ぶという形式にしています。コミュニケーションの中で単語の知識を活かすことができるかを問います。どの単語もふさわしい文脈の中で選ばれ使われるからです。
出題意図 3	英語における基本的な文法知識を問う問題です。会話の形式で空所が示され、会話の状況からふさわしい表現を選びます。この問題では、高等学校までに学習する文法の運用知識を問うことをねらいとしています。
出題意図 4	話し言葉のコミュニケーション能力を測る問題です。会話の展開を示す表現に着目しながら、会話の状況や話者の意図を理解し、一貫した内容を把握する論理的思考能力を問います。

科 目	英 語
出題意図 5	<p>空所補充を通じて短いエッセイを完成させる問題です。英文をパラグラフの観点から理解できるかを問うとともに、受験者の論理的な読解力、文脈把握力、英文構成力を総合的に測定します。具体的には冒頭文と結論文を手がかりに、その焦点を正しく捉え、文同士の間関係を理解し、適切な論理展開を選択する力が必要になります。</p>
出題意図 6	<p>さまざまなジャンルの短めの文章について、特定の情報を読み取る、読み取った内容に基づいて情報を整理する能力を問う問題です。文章の内容について、限られた時間であっても正確に理解する読解力を問います。</p>

科 目	日本史
出題意図 1	弥生時代、奈良時代、戦後の文化史の基本事項を問う問題です。
出題意図 2	織豊期の政治・経済に関する基本事項を問う問題です。
出題意図 3	山県有朋の生涯を通して、幕末、明治、大正期の政治に関する基本事項を問う問題です。
出題意図 4	戦間期の経済に関する基本事項を問う問題です。

科 目	世界史
出題意図 全体	<p>高校教科書の内容を確実にマスターし、世界各地域の大きな歴史の流れを理解しているか否かを問うものです。</p>
出題意図 1	<p>世界史において民主主義発祥の地として知られる古代ギリシア・アテネについての問題です。 民主政の始まりからその終焉に至るまで重要な基礎知識について問うています。</p>
出題意図 2	<p>アメリカ合衆国の独立と発展に関する基礎知識を問うた問題です。13植民地の地理的分布や当時の経済状況など、 アメリカという一地域に限定した問いに加えて、他地域における同時代の出来事、他国との関係、文化的背景も視野に入れた設問となっています。</p>
出題意図 3	<p>ナポレオン一族を軸に、フランス革命から第二帝政までのフランス史についての問題です。 単にフランスについての知識だけではなく、革命がヨーロッパに与えた影響や、第二帝政下におけるメキシコやアジア諸国への干渉についての知識などを総合的に問うています。</p>
出題意図 4	<p>1860年代から日清戦争に至る朝鮮の政治を範囲とする問題です。この問題では、朝鮮国内で対立を繰り広げる攘夷派と改革派の動向に周辺の大国たる清や日本が絡んできて一層混沌となった当時の朝鮮政治の経緯を確実に把握しているか否かを問うています。</p>

科 目	地 理
出題意図 1	緯度・経度に関する基本的な知識と日本の気象条件に関する理解を確認する。経度と時差の関係を理解し、日本の地理的条件を理解しておくことが必要である。
出題意図 2	千葉県浦安市付近の地形図に関する読図の基本的な問題です。地理総合「地図と地理情報システム」の単元で学習する地図の読図技法を活用して、地形図や地理院地図から地域をつかむ訓練をなるべく多く積んでほしいです。
出題意図 3	森林の機能に関する基本的知識、および熱帯林と亜寒帯林の減少についての理解、持続可能な森林利用に関する知識を問う。地図帳を参照しながら教科書をしっかり読み込むことが必要である。
出題意図 4	ヨーロッパの農業政策について、地域統合の沿革と域内の農業の特徴に関する基本的知識と併せて、その理解を問う。地図帳で位置を確認しながら、用語集を参照して教科書の記述を正確に理解することが必要である。日々のニュースや新聞などに親しむことも重要となる。

科 目	政治・経済
出題意図 1	わが国の税財政に関する出題です。設問のほとんどは、高等学校の教科書に記載されている基本的な内容と時事内容を問うもので、正確な知識を問うべく、用語を答える問題を多く出題しています。教科書の内容はもちろんですが、時事的内容も把握するよう、また、図や表を読み取る力を身につけてほしいところです。
出題意図 2	消費者問題に関して、教科書で頻出の基本的事項に関する理解を問う出題と、時事的な知識を問う出題となっています。後者についても新聞報道等で耳にすることの多い基本的事柄です。
出題意図 3	高度経済成長からニクソンショック、第1次石油危機を経て、スタグフレーションの時代にいたる社会の動きについての問題です。ほとんどはテキストに載っている事柄ですが、問6は労働生産性の意味、問8はスエズ運河がどの国にあるかを問う問題です。

科 目	数学（経済学部）
出題意図 全体	思考の過程を明確にわかりやすく、かつ論理的に記述する力を重要視しているため、すべての問題の解答に記述形式を採用しています。
出題意図 1	数学Ⅰで学習する基礎的な知識の習熟度を問います。
出題意図 2	[A] 数学 A で学習する確率の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。 [B] 数学 A で学習する整数の基礎的な知識の習熟度を問います。
出題意図 3	数学Ⅰで学習する2次関数の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
出題意図 4	数学Ⅱで学習する微分法、積分法の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
出題意図 5	数学 B で学習する数列の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。

科 目	数学（工学部）
出題意図 全体	思考の過程を明確にわかりやすく、かつ論理的に記述する力を重要視しているため、すべての問題の解答に記述形式を採用しています。
出題意図 1	数学Ⅰで学習する基礎的な知識の習熟度を問います。
出題意図 2	数学Ⅱで学習する微分法、積分法の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
出題意図 3	数学 A で学習する確率の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。
出題意図 4	数学 A で学習する整数の基礎的な知識の習熟度を問います。
出題意図 5	数学 B で学習する数列の基礎的な知識の習熟度・活用のための思考過程を問います。

科 目	物 理
出題意図 1	小球同士の衝突を連続させ、速度の成分分解や反発係数を組み合わせた問題である。運動量や力学的エネルギーなどの基礎的事項を理解しているかを問うている。
出題意図 2	この問題は、波動に関する理解度を多角的に確認している。前半の問題では、縦波と横波に関する知識や波の性質、波の速度、振動数、波長の関係、波の式に関する知識について確認するものであり、後半はドップラー効果とうなりに関連する知識を確認している。

科 目	国 語
<p>出題意図 一</p>	<p>大問一については、倫理学者である古茂田宏氏の著作から問題を作成しました。漢字の書き取り（問一）、単語の一般的意味（問二、三、五、六、九、十）についての小問を織り交ぜながら、文章読解問題（問四、七、八、十一、十二）を設けています。問題文で著者は、哲学史における「唯名論」と「実念論」の違いを解説しながら、言葉の意味――あるいは「本質」と言われるもの――が認定行為の産物であり、それは、時に流血のたたかいをとめないながら、その時々の方関係で歴史的に変わりうる、と主張します。そして、この見解から、さしあたり唯名論の立場を著者はとります。この点を理解できれば、読解問題については正解にたどりつけます。</p>
<p>出題意図 二</p>	<p>文章は少し長めですが、筆者の言いたいことはわかりやすいと思います。すなわち、西洋哲学だけが「哲学」ではないということや、世界各地の思想や言説の一つ一つが「哲学」と扱われるべきであるということ、そして、それらすべてを照らし合わせて普遍的な哲学の姿を捉えることが世界哲学の構築につながるということが本文の主旨です。この大問では、こうした筆者の主張を正確に理解しているかを問いました。なお、常用外の漢字の読みを解答する設問がありますが、一般常識として知っていてほしいという意図で出題しました。</p>